

1 実施方向

学校関係者評価委員会(学校評議員会)に、自己評価の結果を資料として示し、本校の自己評価が適切に行われているかどうか、また、教育活動全般における取組が適切かどうか等について評価を受けた。

2 実施日時

3月12日(水)

3 学校関係者評価の結果(所見および指導助言)

- (1) 最近は主体性をどう育てるかが重視されている。普段の授業や、HRを通じて育てていくことも重要である。
- (2) 教員の働き方改革と併せて、生徒にも時間を返して考えさせることも必要。
- (3) SSHについては、水産高校、工業高校、工業クラブ等の実業高校との連携もできるのではないだろうか。
- (4) 行事の入れ替えが、南高の特色になるように工夫してほしい。
- (5) 高校生が講師となって、中学校で薬物乱用防止講話を行うこともある。南高でも考えてみてはどうか。その際は高校生が自らどのような話をするのか考えさせるとよい。
- (6) 金銭面の問題はあがあるが、修学旅行を海外にして様々なことを体験させてもよいのでは。
- (7) 登下校時の送迎で、学校周辺の道路での乗り降りが問題となっているが、校内への車の乗り入れなどの対応はできないだろうか。
- (8) 中学校の卒業生からも南高の良い話を聞いている。新しい制服も評判がいいようである。
- (9) SSHのジュニアサイエンスラボについては中学校でもアナウンスしていきたい。
- (10) 高校ではQ-U検査(費用は保護者負担)を実施しているということだが、中学校では費用面からアセス(無料)を使用している。
- (11) 子ども達の満足度が高いのが一番。一人ひとりに対してきめ細やかな指導を行っているようだが、そのことをもっとPRしてもよい。
- (12) 部活動は魅力ある学校づくりの一つのファクターである。勝利至上主義にならないように注意しつつ、生徒達の活躍を発信して行ってほしい。
- (13) 南高は魅力的な活動をたくさん行っているが、HPへの掲載だけでなく、記者投げ込み等をして、もっとメディアを活用した方がよい。
- (14) 入学生の学力差は年々広がっていると思う。同一の授業内での個別対応では追い付かな

い状況もあるのではないかと。1年生の段階から習熟度別授業、または習熟度別クラス等の編成も検討したほうが良いのかもしれない。

以上の指摘を受け、以下の確認・対応を行った。

- 育成したい資質・能力を念頭に置き、行事や授業、SSH活動をリンクさせ、将来の進路選択に対する視野を広げさせる取組を行うことで、生徒の未来デザイン力を高め、本校の魅力化を図っていく。
- 次年度は1、2年生が週33単位となる。また、体育祭を5月、文化祭を11月に移動したため、これまで8月中旬から行っていた体育祭や文化祭の準備がなくなり、8月31日までを夏季休業期間とすることができた。今後は、時間の使い方、使わせ方についてもしっかり身につけさせていきたい。
- 次年度も体育祭は5月、文化祭は11月に実施予定であるが、中学校へのPRも含めて、本校の特色になるようにしていきたい。
- 次年度入学の65回生から、海外修学旅行を計画中である。日本では経験することのできない内容を盛り込んだ修学旅行となるよう準備を進めていきたい。
- 新しい制服の着こなしルールを含めて、まずは生徒自身にしっかり考えさせ、職員の共通理解を図ってきたい。
- 今年度は、近隣の小島中学校と大浦中学校にチラシを配り、他はHPで広く参加を呼び掛けたが、次年度は事前アナウンスする対象中学校を広げるなど、PRしていきたい。
- 年々、配慮が必要な生徒が増加しているが、SCやSSW、児童相談所等の外部機関とも連携を図りながら対応していきたい。
- SSHについては、今後とも地域や大学、中高の連携も含め、南高の魅力化につながるように、計画・実施していきたい。